

大東亞戰史資料
高射砲隊百三十四隊戰術指導計畫概要

1417

高射砲第百二十四聯隊 戦闘指導計畫

第一 方針

一 聯隊ハ四周特ニ西方及西南方ヨリ要地ニ進入スル敵機ニ對シ其ノ爆撃射程外ニ於テ撃墜ヲ企図ス

第二 射撃

一 目標ノ選定及配當

二 撃墜最モ容易ナレモノヲ選定ス

三 目標ノ選定及配當ハ聯隊長之ヲ行フヲ本則トスルモ、中隊長

行フコトアリ

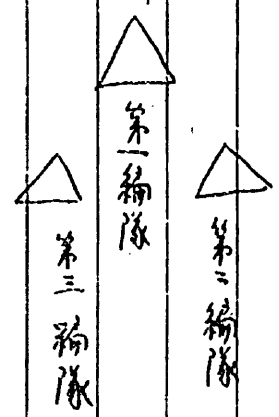
四 目標ノ指示ハ左ニ依ルモノトス

丁 右 丁ニ番機

上視圖 丁中 丁一 番機

丁 左 丁三番機

丁四番機



<p>明瞭ニ高度差アル時ハ上ノ編隊中ノ編隊下ノ編隊ノ如キ詞ヲ 使用ス</p>	<p>五 別命ナキ時ハ先頭編隊(機)ヲ選定スルモノトス 高度差アル目標ニ對シテハ低キモノヲ戰爆連合ノ目標ニ對シテハ 爆撃機ヲ選定ス</p>	<p>六 目標ノ授受ハ左ニ依ルモノトス 離隔セル部隊相立ノ場合 方眼ニ依ルヲ主トスモ方向(方位)高低(高度)直(直角) 若クハ地名高低(高度)ヲ以テスルコトアリ</p>	<p>中隊内ノ場合 方向高低(高度)ニ依リ又ハ地名高低(高度)ニ依ル</p>	<p>二 火力集中</p>	<p>七 一目標ニ對シテ効キ多クノ火力ヲ集中スルニ効ム</p>	<p>八 火力集中ノ方法ヲ統制發射ヲ本則トスルモ通時發射ニ依ルコトアリ</p>
--	---	--	--	---------------	---------------------------------	---

陸軍

九、火力集中区域、番号、集中火力左記ノ如シ。

番号	区域	集中火力
1	川南造船所ヲ中心トシ半径四料	3、9
2	三菱造船所ヲ中心トシ半径四料	1、4、9、中島、里取小
3	三菱製鋼所ヲ中心トシ半径四料	1、4、中島小
4	三菱兵器製作所ヲ中心トシ半径四料	1、4、中島小

十、各中队ハ高度100米以下ノ目標ニ對シ左記ニ依リ固定阻止ヲ實施スルモノトス。

番号	区域	集中火力
1	川南造船所上空	3、9
2	三菱造船所上空	1、4、9、中島、里取小
3	三菱製鋼所上空	1、4、中島小

	4	三菱兵器製作所上方	1.4. 中島小
	5	小柳陣地南側高地ト大久保山ヲ連スル線	1.9. 星取小
	6	三菱兵器製作所 東北側隘路	4

三 觀測射撃

十一 射撃ハ晝夜ノ間ハ觀測射撃ヲ實施スルヲ通常トス。

十二 固定掩護物ニ對スル急降下目標ニ對シテハ通常予メ計畫
準備セル表依リ方向射向、信管(高度)ニ依リ阻止射撃ヲ
實施スルモ、固定掩護物ニ非ザルモノニ對シテ降下セル目標ニ對シ
ハ高度方向、高低修正量ニ依ルコト際直接照準トス。

十三 直距離一〇〇米以内ヲ通過スル超低空橫行目標ニ對シ自衛上
已ムヲ得サル場合ニ於テハ砲身射撃ヲ行フ。

十四 陣地ヲ襲撃スル目標ニ對シテハ通常予メ割合セル三種ノ信管
秒時ヲ以テ阻止射撃ヲ行フ。

コノ際ハ直接照準(砲身射撃、散照準等)ヲ用トス

地物ノ蔭等ヨリ襲撃ヲ予想セルノ方向ニ對シテハ予メ固定阻止
諸元ヲ準備シオキ、迅速ナル阻止ヲ行フモノトス

十五、射撃高度ノ限界ヲ左ノ如ク定ム

7AA 七五〇〇

8AA 八五〇〇

10AA 八五〇〇

十六、七高ハ通常 H5000 以上ノ時ハ算定射撃ヲ行フモノトス

大高度射撃ニ方リテハ迎撃チニ徹底ス

十七、大型機ニ對シテハ主トシテ瞬發ヲ期待シ、ソノ他ニ對シテハ瞬發
曳火ヲ期待シテ射撃ス

四 電測(聽測)射撃

十八、觀測射撃ヲナシ得ザル目標ニ對シテハ通常電測射撃ヲ
行フモ、狀況ニ依リ聽測射撃ヲ行フコトアリ、
ソノ轉移ハ聯隊長之ヲ示ス

十九	各砲中隊ト電測小隊トノ協力關係左ノ如シ
	神島小隊 — 1. 9
	星取小隊 — 4
	伊王島小隊 — 3
二十	電測射撃ノ方法ハ通常連續自差修正器ニ依ル聯動射撃トス
二十一	聽測射撃ノ方法ハ聽測聯動トス
	第三 照空
二十二	照射ノ方法ハ統一照射ヲ本則トスルモ各個照射ヲ行フコトアリ
二十三	敵機ノ進入方向ニ依ル 戦闘擔任區職分左ノ如シ
	南方 — 7
	東方 — 8
	北方 — 7. 8
	西方 — 7
二十四	追照燈數ハ最大限ニ燈ヲ基準トス

二五 協力電測小隊左ノ如シ

ク中隊——伊王島小隊

子中隊——星取小隊

第四 海上及地上戦闘

二六 海上戦闘ニ関シテハ 重砲聯隊長ノ指揮ヲ受ケルモノトス

二七 戦闘要領左表ノ如シ

區分	戦闘區域	協力中隊
遠戦	香埃島及高島南方海面	3
長崎港ニ侵入セル 舟艇ニ對スル戦闘	長崎港	1. 3. 9.
海面照射	長崎港	7.

二八 上陸ニ來ル敵ニ對シテハ各中隊ニ於テ予メテ計畫セル處ニ依リ
要スルハ陣地ヲ交換スル行ヒ主トシテ對敵單射擊ヲ實施スルモノトス

第五 整備及補給

三十九 彈藥ノ整備ハ火炮一門ニツキ一〇〇發 機關銃一〇〇〇發

小銃ニ〇〇發及リ各陣地ニ集積ス

補給ニツキテハ高射銃團ヨリ受領シ各中隊ニ交付スルモノトス

三十 糧秣ソノ他 軍用物資ノ整備ハ最少限所要ヲ一月分ヲ

目途トシテ幸時陣地ニ保有シアル如ク補給ス